

製品名: LAMB1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21371**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:198kD;Observed MW:240kD

抗原情報

遺伝子名	LAMB1
別名	LAMB1;Laminin subunit beta-1;Laminin B1 chain;Laminin-1 subunit beta;Laminin-10 subunit beta;Laminin-12 subunit beta;Laminin-2 subunit beta;Laminin-6 subunit beta;Laminin-8 subunit beta
遺伝子 ID	3912
SwissProt ID	P07942
免疫原	ヒトラミニン β1 の合成ペプチド

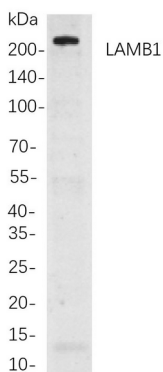
背景

細胞局在: 分泌型。ラミニンは細胞外マトリックス糖タンパク質ファミリーであり、基底膜の主要な非コラーゲン性構成成分です。細胞接着、分化、遊走、シグナル伝達、神経突起伸展、転移など、様々な生物学的プロセスに関与していることが示唆されています。ラミニンは、ラミニン α 、 β 、 γ (以前はそれぞれ A、B1、B2) という3つの非相同鎖から構成され、それぞれ異なる鎖からなる3本の短腕と、3本すべての鎖からなる長腕からなる十字形構造を形成します。各ラミニン鎖は、それぞれ異なる遺伝子によってコードされるマルチドメインタンパク質です。各鎖には複数のアイソフォームが報告されています。異なる α 、 β 、 γ 鎖異性体が結合して、異なるヘテロ三量体ラミニンアイソフォームが生じ、発見順にアラビア数字で指定されます。つまり、 $\alpha 1\beta 1\gamma 1$ ヘテロ三量体はラミニン1です。

研究分野

-

画像データ



LAMB1 ウサギ mAb を用いた HeLa 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を使用した。